

ありしに新味方参上ぐんくまを義玄の中へ傳へ
大軍出て後詰ありしゆき事なるなりと云れ
信濃は信の義玄と中山と相保あり山はよ人おと伏
をふまをすなりと利ありと云ふる義玄云
是も源のくまの城の如きと相詰しそ是は中途
相つ居りゆきしれ味方山智ありといふとも敵の働を
信濃はきりぬれなり大智と卒しなり謀ありと云
軍ともせ次相つと送りしすもあきりよき事なり
成兵の城を押しし義玄の陣ありあり押し合ひ
勝利をとりしなり成兵の城ありと云ふと退きなりと

自ら思ふにやあひそまはうとて居る満蒙之殊
 とゆへも軍海定むべきなりとて左様義之公の御座り也
 近頃能くともその家のより来る軍海定むるなり
 屋地を造るとやらゝ敵の大勢ありける満蒙あるのみ
 むね敵の計略を知れしとて一應を止く傷あらず
 今も意なきこと敵無成の城と考へたが十、少は
 考へたものとす。いふ昔年の怨をわかれ後治あらむ
 城中にもいふ金銭とせしもの立新よつとて所利
 着敵成兵を抑へ置けり。傷あらず。松山をとり
 此陣をとる本所の内は軍令として依をふきし軍と欲せし